

年次大会報告⑦

事業承継者の早期教育モデル提案

姜 理恵

(法政大学デザイン工学部 システムデザイン学科 教授)

概要

事業承継者への教育は大学学部生以降が中心となっているが、筆者はこれまで事業承継ファミリー子女を大学・大学院で指導した経験から、大学入学前から始める早期承継者教育が必要であるとの問題意識を持っている。そこで学術的背景も踏まえてこの問題意識を整理した上で、2年間にわたり石川・新潟で実践している事業承継ファミリー子女向け起業家教育の結果と考察を報告し、事業承継者への早期教育モデルを提案する。

研究の背景とリサーチデザイン

筆者は国立の研究大学院大学で研究・教育に従事した2017-2021年度の5年にわたり、6名の事業承継ファミリー子女の指導を担当した。同大学は研究大学であるため教育の側面は少ないものの、2年間の修士課程で事業承継者として「成長する学生」「そうでない学生」の差が激しいという気づきと、22歳を過ぎた学生の承継者教育を担当しても既に人格形成が進んでおり教員として出来ることが少ない実感もあった。

この体験をもとに、事業承継者の成長期では何が成長要因になっているのかという疑問を持ち、事業承継者向け早期教育のあり方や課題を探索することとした。

この研究関心をもとにしたリサーチクエスションは「RQ：事業承継者の成長に資する教育モデルとは何か」である。

この問いを探るリサーチのデザインとして、ま

ず筆者の事業承継者の教育経験を整理し、起業家教育の先行研究知見をまとめる。これに事業承継者を中心とした起業家教育の結果を加味して、事業承継者の早期教育モデルを提案する。

事業承継者の教育経験

下表は筆者が担当した事業承継子女の6名のプロフィールである。個人情報に配慮し、個人が特定できない形でまとめた。一部の情報については秘匿してある。

筆者の研究室に配属後大きく成長したのはBCD、変化に乏しかったのはAEFであるが、この6名を2つに分け、その特徴を研究室員2名の意見を交えてまとめてみた。

左の停滞群は、自社への興味が薄く、家族と自社に関する会話も薄かった。アルバイトの経験がほとんどなく、アルバイトを勧めても何かと理由をつけて嫌がる様子から、実社会での失敗を恐れていることが伺えた。

右の成長群は入学以前から自社への興味が大きく、家族と自社についてのやり取りも多い。親への敬意が深いのも共通していた。アルバイトやインターン参加にも非常に積極的で、学生時代にできるだけ経験を積んで、修了後の社会人生活に活かしたいという態度も共通していた。

このまとめから、幼少期からのビジネス接点、成長期におけるリスク性向の形成の2点が重要な要因であることと推測し、親との関係性が両者に

表1 事業承継子女6ケース

ID	性別	学業	家業の状況	家族関係に関する印象的な発言
A	男	秀	工場を父が創業、両親離婚 誰が承継か不明	内定したサービス業は低い階層の人がする仕事だと叔母が激怒
B	女	良	工場を父が創業、一人娘業態変えての承継を予定	幼少期、創業期の両親と離れて暮らしたが、そのことを感謝
C	男	良	公務員の母が副業創業、業態変えての承継希望	両親を驚かせる成長をしたい、まず自分で商売をしたい
D	女	優	工場を父が創業、一人娘 承継意思固まる	なぜ父が一度倒産したのか理由を知りたい、一緒に成功したい
E	男	良	製造業を両親が経営 承継意欲不明確	家業の話はしたことがない、親は自分を憎み、殺そうとさえした
F	男	可	小売業、承継意欲高いと称するが、ムラがある	「3代目が潰す」と学校の先生に言われた、自分でもそんな気がする

停滞群(A,E,F)

親の苦労や自社のストーリーを知らない、興味がない

アルバイト経験がない

失敗を極度に恐れる

成長群(B,C,D)

親や自社への関心が高く
リズベクトがある

アルバイトに積極的

失敗からの成長に興味がある

図1 事業承継子女 教育経験の分析

影響すると考えた。よって事業承継者の大学院修士課程2年間における成長可能性は、入学以前の家庭環境や成育の影響が大きいことが窺え、早期教育の必要を確認した。

事業承継者の早期教育に資する起業家教育の知見

次いで早期の事業承継者教育に類似する概念として、起業家教育の学術的背景を整理する。

起業家教育は世界の各経済ブロックに起業家の数と質を増やすプラットフォームである一方、受講する生徒はもともと起業意思が高いので、教育効果の測定が難しい(Bae et al.2014)とのジレンマとともに、起業家教育を受けたことで「起業は難しい、自分にはできない」と、逆効果になるケースが複数の論文で報告されている。また起業家教育の長期的な効果測定はリサーチの空白域になっている点は、事業承継者の早期教育でも同じ

課題を抱える。

Pittaway and Cope (2007) は1970～2004年の間に発行された185の学術誌に対して、起業家教育に関する論文をシステムティックレビューし、起業家教育における4つの課題として、①起業家教育を取り巻く政策、②起業家教育の大学における実施形態に関する検証、③教育プログラムと学生の起業行動との関係、④起業家教育の成果指標、を示した。これら4領域について研究が分散しており、アントレプレナーシップだけではなく、教育学や心理学、政治学などの理論的枠組みを活用した展開が必要であると述べている。

Nabi et al. (2017) は起業家教育を7つに分類した。ディスカッション、シミュレーション、課題解決・事業創造、講義・知識の供給、フィールドワーク、ゲストスピーチ、企業説明・インターンシップがそれである。

事業承継者の早期教育プログラムを設計するにあたって、先述の「幼少期からのビジネス接点」「成長期におけるリスク性向の形成」の観点から、実際のビジネスや事業を机上やゲームで疑似体験する「シミュレーション」と生活や知識から課題を抽出し、それを解決する事業を創造する「課題解決・事業創造」を採用することにした。

事業承継者の早期教育プログラムの設計

同プログラムの設計の背景として、自治体と以下の問題意識を共有した。

1. コロナ禍で地域企業の廃業が加速
2. 地域企業の廃業が進むと、地域経済が崩壊する
3. 自治体に相談に来た時点で親が70代では打つ手がない
4. 子女が大学進学前の18歳までに、承継問題との接点を持つことが重要
5. 家庭で事業承継を話し合っていない
6. 複数の子女の誰が承継に向いているのか、理解する機会が少ない
7. 学校教育のリーダーシップと、経営に資するリーダーシップに違いがある

この共有をベースに複数自治体との協働で、事業承継ファミリーの小中学生を対象とした1日プログラムを開発した。地域で活躍する社長が登場したり、馴染みのある地域ベンチャーのケース紹介から始まり、我が町の課題を探り、その解決方法をビジネスとしてまとめる3時間のワークショップである。事業家ファミリーを中心に勧誘し、親子での参加を勧めた。2020年から開始し全4回実施、延べ44名の子供が参加した。

教育プログラムの結果

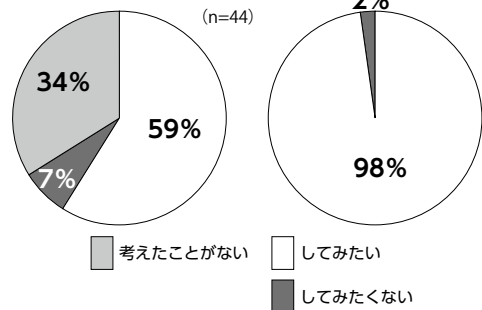
実施前後のアンケート結果 (n=44) では、事業承継意欲は著しく向上している。

ただし、先述したように起業家教育効果の長期的な追跡には課題があり、受講直後の効果にすぎない。

しかし確実な効果があった事例もいくつか確認できた。うち一つ、石川県のM君(小2)のケースでは、小学校1年次に祖母(創業者)と参加、小学校2年次は母(社長)、従業員、妹と参加した。当初は消防車に憧れ、消防署員になりた

教室に入る前は、将来自分でお店や会社を始める、家の仕事を手伝うなど

教室を通して自分のお店や会社を始める、家の仕事を手伝うなど



いと語っていたM君だったが、プログラム参加後、①筆者の研究室に新事業案を話に来る、②消防署員への夢を医薬品ベンチャーに変更、③中学受験を決意、といった大きな変化があった。

事業承継者の早期教育モデルの提案

こうした活動と結果を踏まえて、事業承継者の早期教育モデルを提案する。



こどもと親、大学・大学院生、地域の起業家・事業家が参加して、みんなで企業を学ぶ地域コミュニティの形成がそれである。

これにより事業家ファミリーの子女には、家業を意識・ファミリーへの敬意を育む機会の提供、事業承継へのポジティブな意識の醸成が叶う。

事業家ファミリーの親世代には早期からの承継

計画の意識醸成に加え、プログラム参加が子供の適性を見極める機会にもなりうる。

今後さらにプログラムの充実をさせることと、効果測定（短期、中期、長期）の実施、事業承継教育研究との議論を深めていく。

主な参考文献

- Pittaway, L., & Cope, J. (2007). Entrepreneurship education: A systematic review of the evidence. *International small business journal*, 25(5), 479-510.
- Bae, T. J., Qian, S., Miao, C., & Fiet, J. O. (2014). The relationship between entrepreneurship education and entrepreneurial intentions: A meta-analytic review. *Entrepreneurship theory and practice*, 38(2), 217-254.
- Nabi, G., Liñán, F., Fayolle, A., Krueger, N., & Walmsley, A. (2017). The impact of entrepreneurship education in higher education: A systematic review and research agenda. *Academy of Management Learning & Education*, 16(2), 277-299.